検査結果について

パス (pass)

検査結果が、「パス」の場合



現時点では お子さんのきこえに 心配はありません。

しかし、成長の過程で中耳炎やおたふくかぜなど、あとになって耳のきこえが悪くなる場合や、先天性の原因でもあとから難聴が出てくることもあります。
今回の検査ではそういったものは発見することはできませんが、退院後に、ご家庭で言葉やお子さんの耳のきこえで心配なことがありましたら、耳鼻科受診や乳幼児健康診査等を利用して、遠慮なく医師や保健師にご相談ください。

リファー (refer)

検査結果が、「リファー」**(要再検査)**の場合



ただちに耳がきこえていないことを意味するものではありません。

生まれたばかりの赤ちゃんは、耳のきこえが正常でも耳の中に液体が残っていて、今回の検査で「パス」しないことがあります。また、検査の時に泣いたり、動きすぎたりしてうまく判定できないことがあります。
お子さんの本当の聴力の程度は、今後の精密検査やお子さんの観察によって明らかになっていきます。
※必ず専門医療機関を受診してください。

精密検査機関一覧

● 愛媛県内の精密聴力検査実施医療機関

医療機関	住所	電話番号
愛媛大学医学部附属病院	〒791-0295 東温市志津川 454	(代表) 089-964-5111

● 愛媛県内の二次聴力検査医療機関

医療機関	住所	電話番号
県立中央病院	〒790-0024 松山市春日町 83 番地	(代表) 089-947-1111
松山赤十字病院	〒790-8524 松山市文京町 1 番地	(代表) 089-924-1111
県立新居浜病院	〒792-0042 新居浜市本郷 3 丁目 1-1	(代表) 0897-43-6161
県立今治病院	〒794-0006 今治市石井町 4 丁目 5-5	(代表) 0898-32-7111
市立宇和島病院	〒798-8510 宇和島市御殿町 1-1	(代表) 0895-25-1111



耳のきこえの問題は、外見からはなかなか分かりません。

早いうちから専門機関でフォローを受けるほど、言語の発達が促され、コミュニケーション能力が習得しやすくなると言われています。
早い時期から適切に対応することが、赤ちゃんの未来の可能性を広げることにつながります。